



資料15

台風21号に伴う対応について 報告

平成30年12月21日（金）
堺市上下水道局



目 次

1. 状況
2. 時系列
3. 給水活動
4. まとめ



1. 状況



➤ 堺市の水道について

- 給水人口：843,535人、給水戸数：396,049戸
- 日平均配水量：263,188m³
- 大阪広域水道企業団から浄水を100%受水
- 主に自然流下

➤ 当日の状況

- 9月4日の12時頃～16時頃にかけて台風通過
- 水道施設への大規模な被害なし
- 停電に伴う断水連絡件数：136建物
- 職員の出勤状況（最終）422人/558人
- 公共交通機関は、概ね10時頃から終日運休



2. 時系列



2. 時系列

- 9/3 (月) 水道施設の点検を完了。運転に支障なし
 - 9/4 9:00 停電に備え、移動電源車を配水場に待機 (1箇所)
13:50頃堺市に最接近
 - 9/4 14:00 3配水場で停電により水圧低下 (配水に支障なし)
配水管理センターが停電。UPSで対応
 - 9/4 18:00 各施設は運転に支障なし
漏水や断水等の情報が多数寄せられる
 - 停電に伴う断水の問い合わせ80件
(9月4日17:30) (コールセンターで受付)
- ✓ 停電に伴う断水について、局として個別対応しない
- ✓ 屋外給水栓破損に伴う漏水に関しては職員で調査対応



3. 給水活動



3. 給水活動

➤ 方針の変更（9月5日堺市災害対策本部会議を経て）

- 停電が長期間に及び市民生活への影響が大きい



堺市災害対策本部にて上下水道局で給水対応を行う旨決定

➤ 対応状況（9月5日以降）

- 2日目朝から調査班（20班）を編成し、連絡があったお客様への対応

- 現状確認（電話連絡）
- 消火栓からの臨時給水施設の設営
- 非常用給水栓の案内
- パック水、給水袋水の提供



3. 給水活動（活動の様子）



消火栓からの給水



消火栓からの給水



消火栓からの給水



3. 給水活動（活動の様子）



➤ 災害時給水設備による給水

耐震性の高い配水管から避難所の敷地内まで、耐震性を有する配水用ポリエチレン管（φ50）を引き込むことで、敷地内の給水管が破損しても別経路で給水を確保することができる設備



災害時給水設備は避難所敷地内の給水拠点となるところに、ベンチ型の収納ボックスを設置し、その底部にある消火栓弁までを耐震管からサドル付き分水栓で分岐した配水用ポリエチレン管で接続

✓ 地震を想定した設備でしたが
風水害の際も利用できる



4. まとめ

➤ 応急給水活動状況

日にち	件数	班数	職員数(延べ)
2日目(9月5日)	5件	5班	35人
3日目(9月6日)	3件	3班	19人
4日目(9月7日)	1件	1班	2人

➤ 給水袋対応状況

日にち	件数	班数	職員数(延べ)
2日目(9月5日)	0件	0班	0人
3日目(9月6日)	1件	1班	2人(給水パック120袋提供)
4日目(9月7日)	1件	1班	2人(給水袋6袋提供)
5日目(9月8日)	0件	0件	0人



4. まとめ

- 今後に向けての課題
 - ✓ 住宅管理者との連携
 - ✓ 非常用給水栓の周知や備蓄啓発の広報
 - ✓ コールセンターでの受付マニュアル（連絡票フォーム）の整理